

神戸〈ゆうゆうの里〉入居者インタビュー

「ここに来て ほんまによかった」

はたやま しげお

かずみ

畠山 繁男 様(81歳) 一美 様(77歳)

入居までのハードル

神戸〈ゆうゆうの里〉の自然環境の良さ、そして何より介護体制の充実が気に入り入居を決めました。

そんな私達も入居前にとっても悩んだ問題がありました。“山の会”の集合が「早朝で大阪近辺」であることです。神戸からだ、随分早くに家を出なければいけません。そのことが、私達にとって大きなハードルでした。何度も見学・体験入居を重ねて気持ちはだんだんとゆうゆうの里へ傾き、「早起きしてでかけよう」という決断に至りました。そして、今も週に1度は必ず登山へでかけています。山の魅力は、そこに行けば気心の知れた仲間達との楽しい時間。そして登頂したときの達成感です。毎回何事にもかえがたい喜びを感じます。二人とも山が大好きで「百名山制覇」はもちろん、登った山は1000を超えています。

繁男様 卒寿記念 ハヶ岳登頂



真中左：畠山一美様 真中右：畠山繁男様

アメリカ大陸横断



世界遺産 モニュメントバレー

9月中旬から15日間、「アメリカ大陸横断バスの旅」へ行ってきました。ロサンゼルスからニューヨークまで約7280キロの旅です。一日の移動距離は約500km!!想像を絶するほど、アメリカは雄大でした。たくさんの観光地を巡りましたが、“駅馬車”が撮影されたモニュメントバレー・グランドキャニオンの朝日と夕日が本当によかった!!自然美に心を打たれました。ツアー参加者は15名ほどでしたが、主人が最高齢。歳を聞いて「嘘でしょ?」とみんなびっくりしていました。登山の為に日頃から鍛えているからこそ、二人でこの旅に無事参加できたのだと思います。人生の「良き思い出の旅」となりました。



グランドキャニオンの朝日
(畠山様撮影)

自然からのプレゼント

里に入居してから思わぬ自然からのプレゼントに心を動かされた事がありました。

春の朝方寝ていると「ホーホケキョ♪」とウグイスの声での目覚め。こんな贅沢が日常で体験できるなんて思ってもみませんでした。洗濯を干していてもどこからかウグイスの声。心癒される瞬間です。

そして、“空”。ゆうゆうの里の青空の青の色が綺麗なこと!!ある日の夕方、部屋で洗濯をたたみながらふと窓の外を見ると、雲が赤く染まりそれはそれは“きれいな夕焼け空”。思わず手がとまりしばらく見とれてしまいました。部屋からこんなに素晴らしい景色が見られて幸せです。



ゆうゆうの里の澄んだ青空

安心を得る

入居して、今までの暮らしにプラスして「安心」を得る事ができました。アスレチックジムを休んだ時、たくさんの人から心配された時はびっくりしました。入居間もない頃、お酒が大好きな私達に「明日はゆうゆうBARがあるから、食堂の予約は取り消さなあかんよ」と教えてくれた方もいました。職員さんはもちろんだけど、入居者の方も気さくで親切な方が多くて本当にありがたいです。

ゆうゆうの里に住んで1年ほどですが、もう10年ぐらい住んでいる気分です。「ここに来てほんまによかった!!」と二人で話しています。